OSAKA CITY
大阪市

施設内での新型コロナウイルス感染症発生時の初動について
―施設機能維持―

大阪市保健所感染症対策課
集団疫学調査班
令和6年3月更新

施設機能維持

給食に関して

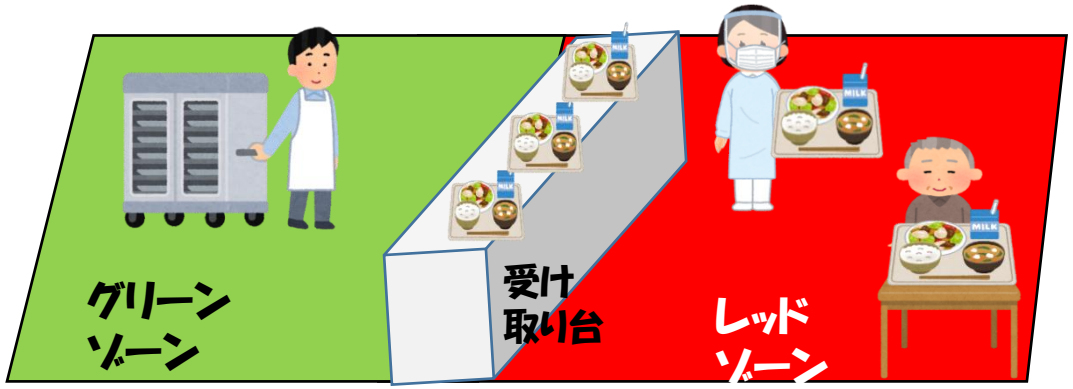
- 給食における感染リスクは食器回収時
- 食器を使用していても、適切に洗浄されれば、入居者間での感染拡大の可能性は低い
- ただし、適切な手指衛生と接触予防策が行われない場合は、厨房職員の感染リスクを高める（手袋を付けっぱなしで時々顔の汗を拭く、は感染リスク有り）
- 以上のような状況から、レッドゾーン内の食事提供時の

「食器はディスポーザブルのものを使用することが多い」

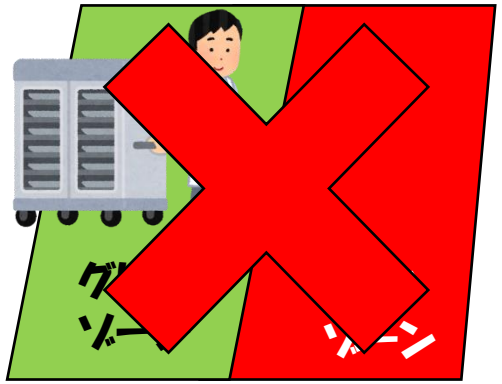
- 現在では外部委託の給食業者の多くがディスポーザブル食器での提供に対応している

配膳・配薬の行い方

レッドゾーンへの持ち込み

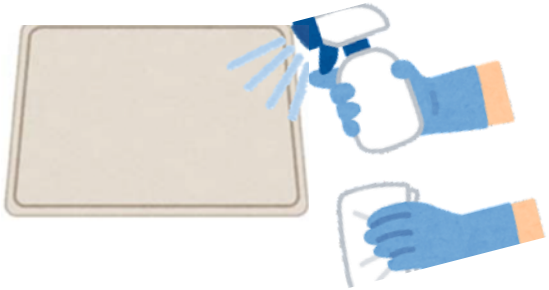


レッドゾーン内の受け取り台を利用する



レッドゾーン内の配膳車による直接持ち込みはダメ！

レッドゾーンからの持ち出し



持ち出す際には
必ずふきとり消毒！！

食器、トレイは消毒・洗浄し、
グリーンゾーンに持ち出して
ください。
一般の中性洗剤でOK

使い捨て（ディスポーザブル）
食器やお弁当の利用も有効です

廃棄物の扱いに関して

➢問題点

- 全てを感染性廃棄物として捨てると経済的負担が膨大

事業系一般廃棄物 ⇒ **感染性廃棄物**

➢解決策

- 二重袋をして、ごみ回収業者へ回収してもらう。

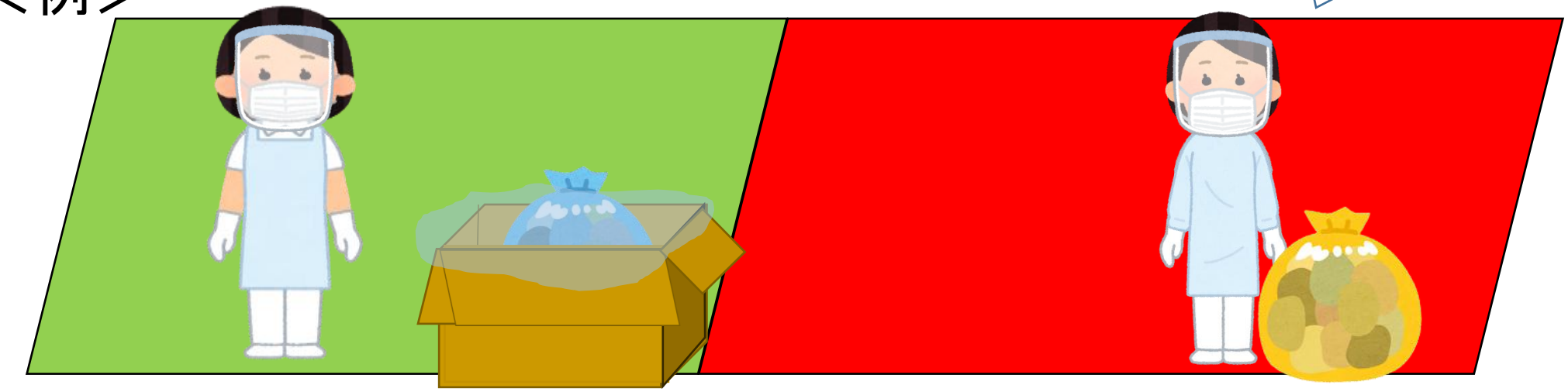
地域や業者によりごみ捨てのルールが異なるため、事前に業者へ確認要。

汚染ごみを持ち出すとき

①レッドゾーン出口で受け渡す
②清潔なごみ袋を段ボールにセットして、
　スタンバイ
③清潔なごみ袋の中に汚染ごみを包み
　入れ、ごみ集積場にもっていく

・清潔ごみ袋の外側に触れない
・床や体についてしまったら、
アルコールで拭き取る！

＜例＞



リネンに関して

➢問題点

- 消毒を施設内で行なってからでないと回収してくれない業者もある
- 現実的には集団感染が発生し人手が足りない施設で消毒は困難

＜対応方法の例＞

① リネンをビニール袋二重にしてリネン業者が回収

② 水溶性ランドリーバッグに入れ、さらにビニール袋で二重にしてリネン業者が回収

③ 施設で洗濯

地域や業者により回収のルールが異なるため、事前に業者へ確認要

洗濯に関して

➢問題点

- 医療法上、病院では「80°C以上の熱湯に10分間漬ける」「次亜塩素酸ナトリウムに漬けて洗浄する」とされたが、現実的に福祉施設で行うのは難しい

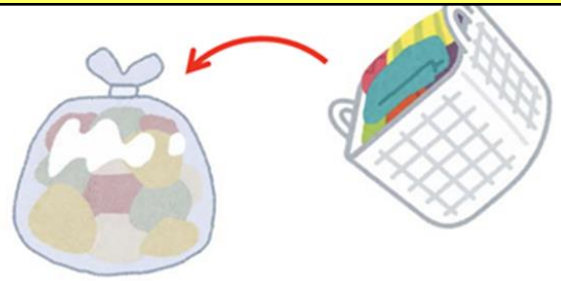
➢解決策

- 現在では通常の**洗剤での洗濯でも「界面活性剤」がウイルスを不活化**する
- 乾燥や紫外線でもウイルスは不活化する

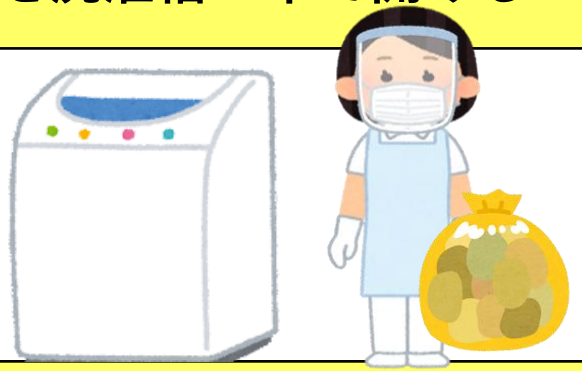
通常の洗濯機での洗濯でウイルスは十分不活化できる
→　**洗濯機に入れるまでの感染予防が重要**

安全な洗濯の仕方

①リネン・衣類をビニール袋に入れる



②汚染されたリネンの入ったビニール袋を洗濯槽の中で開ける

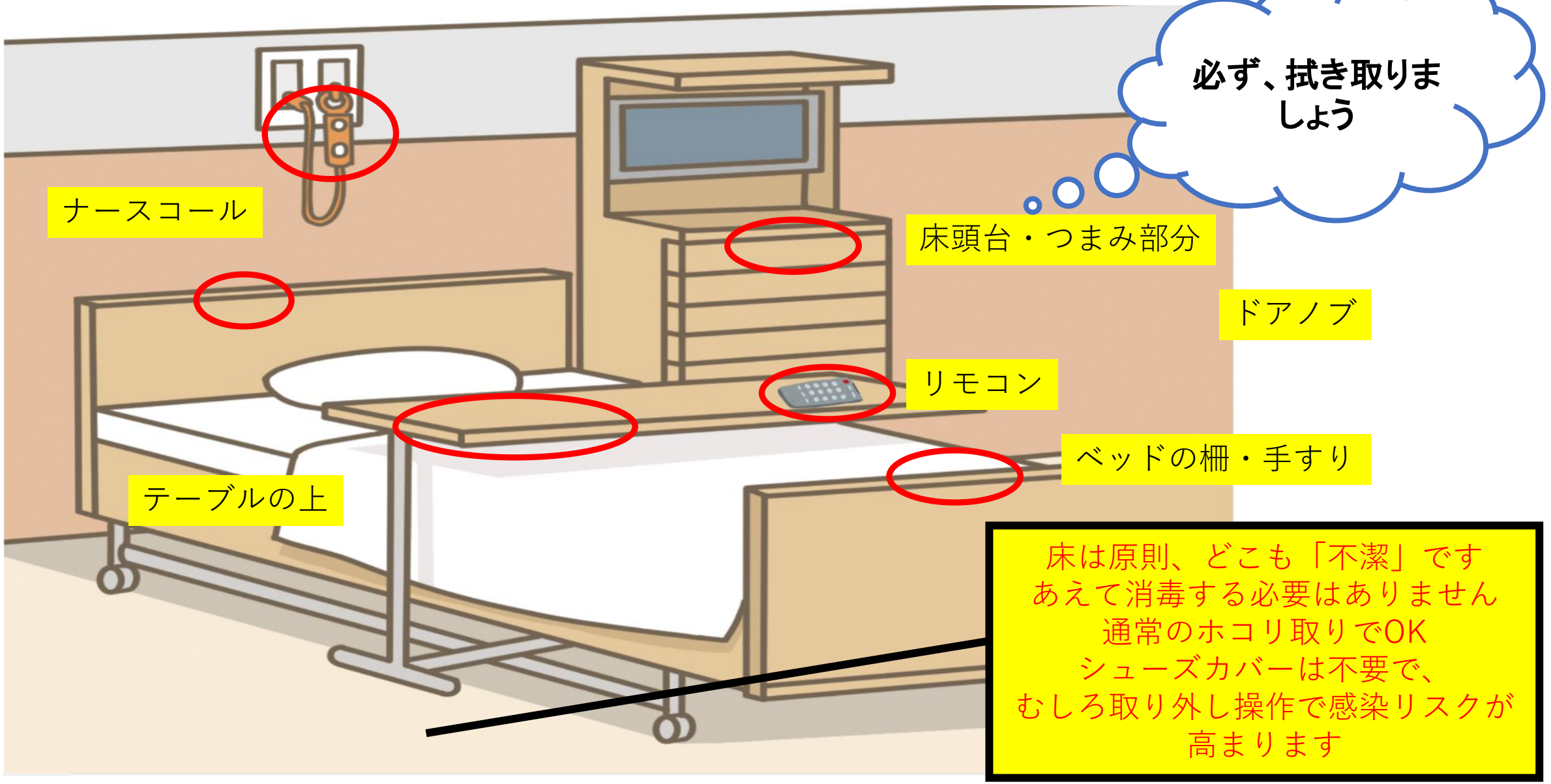


③洗濯中に、スイッチやふたなど触れたところのふき取り消毒を実施

陽性者･陰性者の区別不要

④自身を守る為、手指消毒を実施

清掃と高頻度接触面の消毒に関して



床は原則、どこも「不潔」です
あえて消毒する必要はありません
通常のホコリ取りでOK
シューズカバーは不要で、
むしろ取り外し操作で感染リスクが
高まります

まとめ

- 感染対策の方法の獲得や業務継続等、再周知と検討をお願いします。

- 平時から、感染者が発生した時の対応や業務継続体制の確認とシミュレーションをお願いします。

- 大阪府作成

  「**社会福祉施設等向け**

  新型コロナウイルス感染症対応早わかりブック」

  も参考にご覧ください。

URL：https://www.pref.osaka.lg.jp/chiikifukushi/corona_book/index.html#!